

学びへのまなざし

通級指導教室での子ども達との学びを通して感じた子育てのエッセンスを不定期ではありますが紹介していきたいと思います。

京都市立神川中学校 通級指導教室

担当 玉置宣子

新型コロナの感染拡大が収まらずで、不安な日々が続いています。家で過ごす時間が長くなっているこの機会に、将来の自立に向けて、一人ひとりが「家族の一員としての役割」について考えてみてはいかがでしょうか。

中学生にとっての自立とは

通級指導教室での学習には、生徒一人一人の困りに応じた自立活動を取り入れています。その領域は、学習指導要領に以下のように示されています。

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1, 健康の保持 | 2, 心理的な安定 | 3, 人間関係の形成 |
| 4, 環境の把握 | 5, 身体の動き | 6, コミュニケーション |

この6つの領域に項目が示されており、生徒それぞれに合った項目を目標として設定し、活動に取り組んでいます。が見ていると、まず自分が何を目標とすればよいのか、何が出来ていて何が出来ていないのかを自覚していない生徒も多くみられるようです。自立のために必要なこととして、まず大切なことは「自己理解」です。

自分は何が得意で、何が苦手なのか。どんなことがしたいのか。将来どうなりたいと思っているのか。そのために今、身につけなければならないことは何か、,,等,そういったことをじっくり考えてみるのが大切です。

そこで、以下に「自立度チェックリスト」をあげてみました。

中学生の自立度チェックテスト

【生活的自立】

1. 朝、自分の力で起きて朝食を食べ、遅刻せずに学校へ行っている
2. 翌日の学校の準備は前日のうちに済ませている
3. 自分の必要なものは自分で買いそろえている
4. 部屋の片づけやプリントの整理が出来る



【社会的自立】

5. 両親や兄弟と一方的ではない建設的なコミュニケーションができる
6. 自分の役割のひとつとして家事を手伝っている
7. 学校の先生や友人と一方的ではない建設的なコミュニケーションができる
8. 学校の係や委員会の活動に積極的に参加している

【精神的自立】

9. 良い姿勢、綺麗な字を日頃から心がけている
10. 勉強や部活に対して目的・目標を持って取り組んでいる
11. やることの優先順位を判断して、必要な時は我慢することができる
12. 周囲の意見に流されず自分で判断し失敗しても人のせいにしない

(出典:サムライ先生の中学からの自立教育)

自立する力を身につけていくために

- ・自分の得意なこと、苦手なことを理解する
- ・できることと、やりたいことにはギャップがあることを知る
- ・努力や気合いだけでは乗り越えられないことを知る
- ・自分の特性と付き合う方法を知る
- ・失敗しても落ち込まず、上手に方法を考えて実行する
- ・必要に応じて、人に助けを求める
- ・いつも助けてもらうばかりではなく、自分も人の助けになるようなことを持つ

「ヘルプサイン」と「リクエストスキル」
「自己認識」・・・中学校卒業までに

中学生の成長や発達には個人差があります。なので、目標も個人差があってよいのです。どこを目標にすべきかを一緒に考え、努力の過程を見守り、励ましていけたらと思います。

通級指導教室に関するご質問やご相談は、学級担任もしくは通級指導担当の玉置までお問い合わせください。

